

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 1 月 24 日 (2013.1.24)

【公開番号】特開 2011-118580 (P2011-118580A)

【公開日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)

【年通号数】公開・登録公報 2011-024

【出願番号】特願 2009-274369 (P2009-274369)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/60 (2013.01)

G 0 6 K 17/00 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/08 (2006.01)

G 0 6 F 3/06 (2006.01)

H 0 4 N 1/21 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/14 5 1 0 C

G 0 6 K 17/00 E

G 0 6 F 12/00 5 3 7 Z

B 4 1 J 29/38 Z

H 0 4 N 1/00 C

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

G 0 6 F 3/08 C

G 0 6 F 3/06 3 0 4 H

G 0 6 F 3/06 3 0 1 Z

H 0 4 N 1/21

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 11 月 30 日 (2012.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

上記目的を達成するために、本発明のデバイスは、メモリカードを接続する接続手段と、外部装置からのアクセス要求を受け付ける受付手段と、前記受付手段が受け付けたアクセス要求を許可するか否かを判断する判断手段と、を備え、前記判断手段は、第 1 の外部装置からのアクセス要求を許可するとともに、当該第 1 の外部装置による前記メモリカードの使用が終了し、前記メモリカードが取り外されるまでの間は、第 2 の外部装置からのアクセス要求を許可しないと判断することを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メモリカードを接続する接続手段と、

外部装置からのアクセス要求を受け付ける受付手段と、

前記受付手段が受け付けたアクセス要求を許可するか否かを判断する判断手段と、を備え、

前記判断手段は、第１の外部装置からのアクセス要求を許可するとともに、当該第１の外部装置による前記メモリカードの使用が終了し、前記メモリカードが取り外されるまでの間は、第２の外部装置からのアクセス要求を許可しないと判断することを特徴とするデバイス。

**【請求項２】**

前記第１の外部装置による前記メモリカードの使用が終了した後、前記メモリカードが一旦取り外され、前記メモリカードが再接続された後は、前記判断手段は、前記第２の外部装置からのアクセス要求を許可すると判断することを特徴とする請求項１に記載のデバイス。

**【請求項３】**

前記第１の外部装置による前記メモリカードの使用が終了した後、前記メモリカードが取り外されるまでの間に、前記第１の外部装置からのアクセス要求を再び受け付けた場合は、前記判断手段は、当該アクセス要求を許可すると判断することを特徴とする請求項１または２に記載のデバイス。

**【請求項４】**

前記受付手段が受け付けたアクセス要求に応じて、前記メモリカードをマウントするマウント手段を更に備えることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載のデバイス。

**【請求項５】**

前記マウント手段によりマウントされた前記メモリカードがアンマウントされた場合に、外部装置による前記メモリカードの使用が終了したと判断する手段を更に備えることを特徴とする請求項４に記載のデバイス。

**【請求項６】**

前記第１の外部装置及び前記第２の外部装置との間で、無線通信を実行する通信手段を更に備えることを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載のデバイス。

**【請求項７】**

前記通信手段は、無線ＵＳＢ通信を実行することを特徴とする請求項６に記載のデバイス。

**【請求項８】**

メモリカードを接続する接続手段を備えるデバイスの制御方法であって、

外部装置からのアクセス要求を受け付ける受付ステップと、

前記受付ステップで受け付けたアクセス要求を許可するか否かを判断する判断ステップと、を備え、

前記判断ステップでは、第１の外部装置からのアクセス要求を許可するとともに、当該第１の外部装置による前記メモリカードの使用が終了し、前記メモリカードが取り外されるまでの間は、第２の外部装置からのアクセス要求を許可しないと判断することを特徴とするデバイスの制御方法。

**【請求項９】**

前記第１の外部装置による前記メモリカードの使用が終了した後、前記メモリカードが一旦取り外され、前記メモリカードが再接続された後は、前記判断ステップでは、前記第２の外部装置からのアクセス要求を許可すると判断することを特徴とする請求項８に記載のデバイスの制御方法。

**【請求項１０】**

前記第１の外部装置による前記メモリカードの使用が終了した後、前記メモリカードが取り外されるまでの間に、前記第１の外部装置からのアクセス要求を再び受け付けた場合は、前記判断ステップでは、当該アクセス要求を許可すると判断することを特徴とする請

求項 8 または 9 に記載のデバイスの制御方法。

**【請求項 1 1】**

前記受付ステップで受け付けたアクセス要求に応じて、前記メモリカードをマウントするマウントステップを更に備えることを特徴とする請求項 8 乃至 1 0 のいずれか 1 項に記載のデバイスの制御方法。

**【請求項 1 2】**

前記マウントステップでマウントされた前記メモリカードがアンマウントされた場合に、外部装置による前記メモリカードの使用が終了したと判断するステップを更に備えることを特徴とする請求項 1 1 に記載のデバイスの制御方法。

**【請求項 1 3】**

前記第 1 の外部装置及び前記第 2 の外部装置との間で、無線通信を実行する通信ステップを更に備えることを特徴とする請求項 8 乃至 1 2 のいずれか 1 項に記載のデバイスの制御方法。

**【請求項 1 4】**

前記通信ステップでは、無線 U S B 通信を実行することを特徴とする請求項 1 3 に記載のデバイスの制御方法。

**【請求項 1 5】**

請求項 8 乃至 1 4 のいずれか 1 項に記載のデバイスの制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。